

TOTO

小型電気温水器(先止め式)



湯ぽっと
REWF03型(壁掛けタイプ)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けいただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。






表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書(保証書付)」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告	
 分解禁止	修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気が多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
 禁止	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電気温水器本体および電源プラグ用のコンセントを設けない 感電や故障の原因になります。
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない 感電・火災の原因になります。
	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
 アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

7 安全上の注意 (つづき)

⚠ 警告

必ず実行 **漏電遮断器を取り付ける** 感電や火災の原因になります。

開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する
段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

禁止 タンク内が満水になっていないときは、絶対に「運転 (電源)」スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

水道水以外は、通水しない
井戸水や造水などを使用すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に強い力や衝撃を与えない
故障や水漏れの原因になります。

湯は、飲料用に用いない
健康を害するおそれがあります。

接触禁止 吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う
やけどをするおそれがあります。

必ず実行 **水抜きを行うときは、必ず「運転 (電源)」スイッチを「切」にする**
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯 (約20L) 程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。
「12 水抜き方法」を参照ください。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓または元栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

排水管は耐熱性のものを使用する
熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。

うがい用途として用いる場合は、水道水を直結させて使用する
ただし、機器または配管に長時間溜まったお湯は、雑用水として利用する健康を害するおそれがあります。

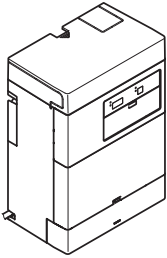





おねがい

- 給水圧力は最低必要水圧 (流動時) 0.05MPa、最高水圧 (静止時) 0.75MPaです。
(自動水栓と接続する場合は、最低必要水圧 (流動時) 0.1MPa、最高水圧 (静止時) 0.75MPaです。) この圧力の範囲内でご使用ください。
(最低必要水圧未満で使用すると流量が少なくなります。)
- 取扱説明書内の保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。
- 必ずフィルター付き止水栓 (必要別売品) を取り付けてください。(注)
- 必ず膨張水処理用排水ホッパー (必要別売品) を取り付けてください。(注)
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。(注)
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。)
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- ケースにテープで貼り付けられている注意書類は必ずお読みください。
- 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

(注) オストメイト対応トイレパック専用用品には、これらの部品は商品にセットで同梱されています。

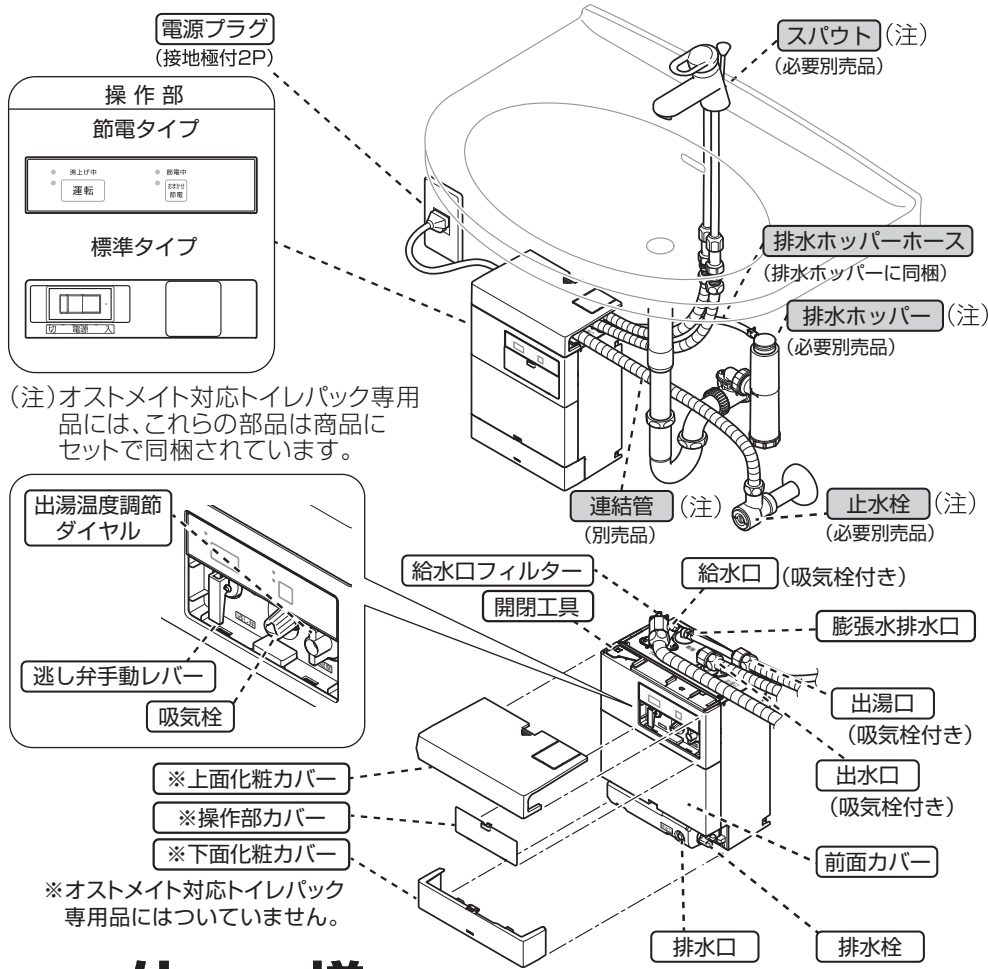
2 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体 (※)	②水抜きチューブ、取付日表示ラベル 取扱説明書 (保証書付)、施工説明書	③取付金具類
 図は節電タイプ	 水抜きチューブ (L=300mm)  取扱説明書  施工説明書 (本紙) お客様にお渡しください	 木ねじ (φ5.1×32) ×3 皿タッピンねじ (φ4×10) ×1 取付金具 固定金具 

(※) オストメイト対応トイレパック専用用品には、化粧カバー、皿タッピンねじ、固定金具、木ねじはついていません。

3 各部の名称

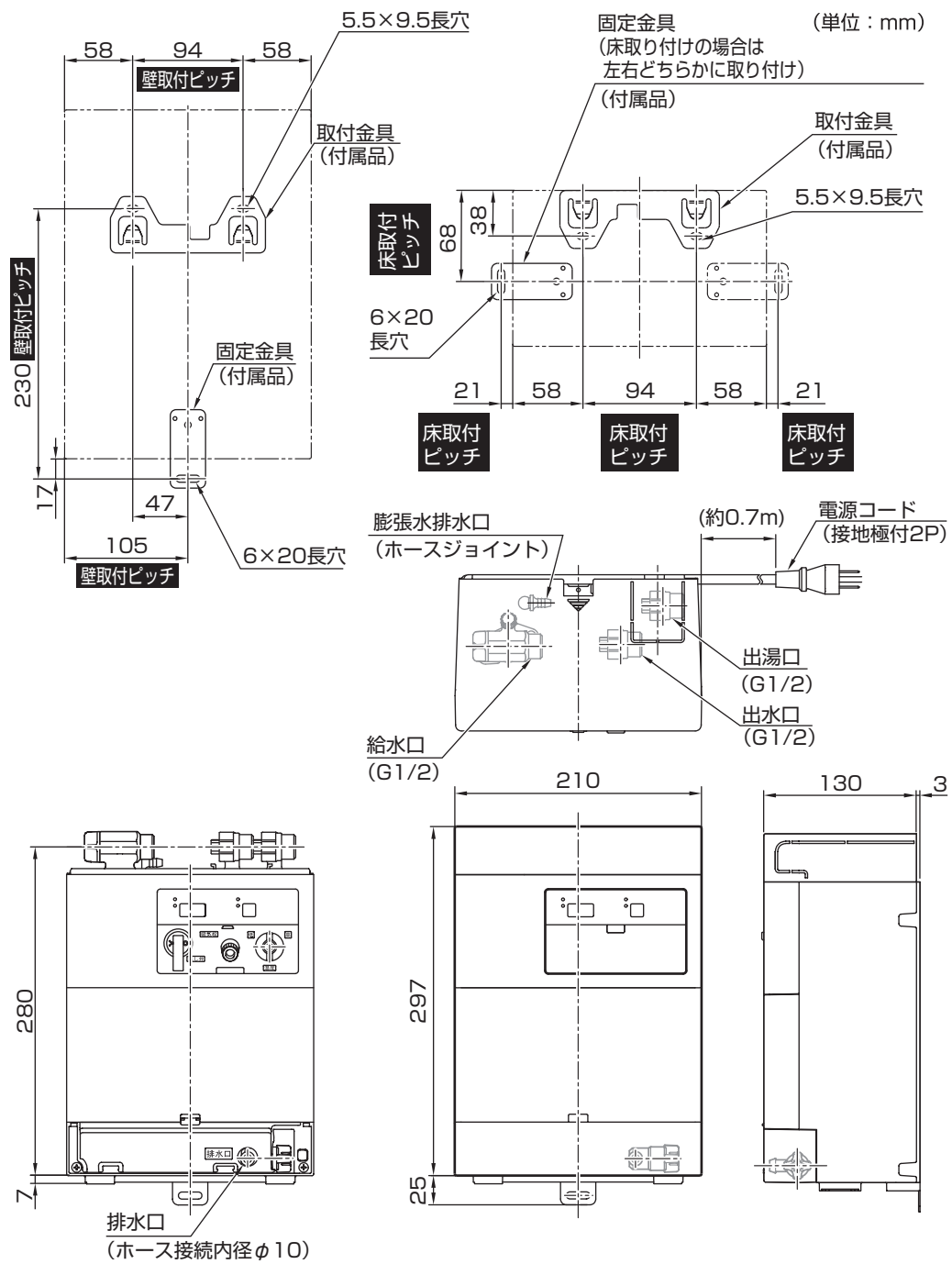


4 仕様

- 給水方式 : 先止め式
- 商品質量 (満水時) : 約3.5kg (約6.0kg)
- 出湯温度 : 約36℃ (ただし出湯温度調節ダイヤルで調節可能)
 ※給水温度 約15℃、ダイヤル位置センターの場合
- 使用環境温度 : 1~40℃
- 出湯温度調節範囲の目安 (給水温度 約 5℃) : 31~37℃
 ※ (給水温度 約15℃) : 33~38℃
 (給水温度 約25℃) : 35~39℃
- 最低必要水圧 (流動時) : 0.05MPa (自動水栓の場合 : 0.1MPa)
- 沸き上げ温度 : 約 70℃ (おまかせ節電時 約 55℃)
- 最高水圧 (静止時) : 0.75MPa
- 安全装置 : 手動復帰式バイメタル 温度ヒューズ
- 電圧 : AC100V
- 電源コード : 約0.7m

■詳しくは取扱説明書を参照ください。

5 寸法図



6 別売品一覧

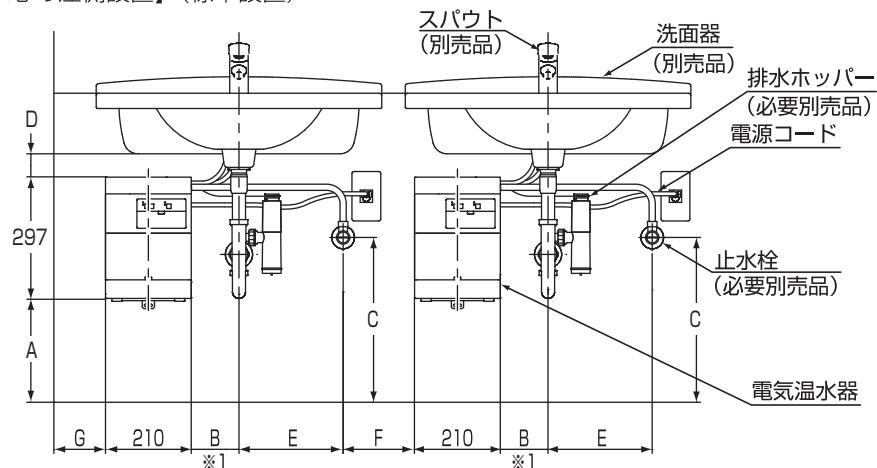
品名	形状	品番	備考
排水ホッパー	密閉式	RHE97H-25	手洗器用 (排水金具φ25用)
		RHE97H-32	洗面器用 (排水金具φ32用)
		RHE97H-38	洗面器用 (排水金具φ38用)
排水ホッパー	開放式	RHE22H-32	洗面器用 (排水金具φ32用)
排水ホッパー 長尺ホース	L=1600 	RHE660	排水ホッパーホース が短いときに取り替 えて適切な長さに切 って使用
ホッパー 継手ユニット		RHE661N	排水ホッパーの 新旧交換時などに使用 (塩ビ管30用)
		RHE662N	排水ホッパーの 新旧交換時などに使用 (φ32用)
連結管		RHE436-15	L=150mm
		RHE436-20	L=200mm
		RHE436-30	L=300mm
		RHE436-35N	L=350mm
		RHE436-40	L=400mm
		RHE436-45N	L=450mm
		RHE436-50	L=500mm
		RHE436-60	L=600mm
		RHE436-75	L=750mm
		RHE140	L=850mm

品名	形状	品番	備考
水抜きエルボ		RHE621R	連結部が逆勾配 になる場合に使用
アングル形 止水栓		TL347CU	給水用フィルター付き (壁給水用) (開閉工具付き)
		TL347C1R	給水用フィルター付き (床給水用) (開閉工具付き)
接続口 キャップ		TH651	接続口キャップ (ふさぎふた) 1個入 単水栓とセットする際、 出水口をふさぐことに使用
水栓取付脚		TN74-2R	自動水栓壁固定用 ※自動水栓品番が 「TEN型、TENA型、 TLE255・265・ 275型」の場合は 水栓取付脚(別売品: TN74-2R)を使用
		TN154	自動水栓壁固定用 ※自動水栓品番が 「TLE2*S・3*S型」 の場合に使用

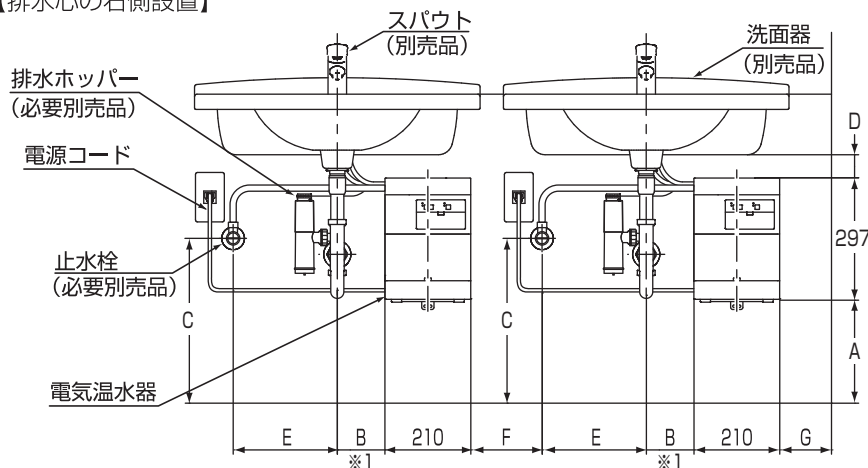
7 設置条件

【排水心の左側設置】（標準設置）

（単位：mm）



【排水心の右側設置】



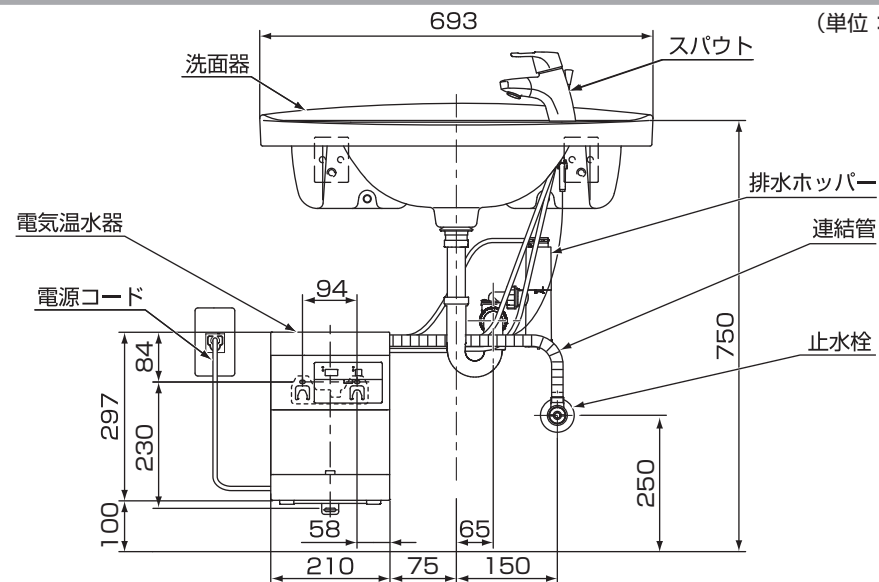
- A 寸法：100 以上
（車いす対応の場合 250 以上）
- B 寸法：75 以上 ※1
- C 寸法：250 以上
- D 寸法：50 以上
施工時、メンテナンス時に必要な寸法
（洗面器下端から電気温水器天面までの距離）
- E 寸法：150 以上
- F 寸法：45 以上
（止水栓の施工時、操作時に必要な寸法）
- G 寸法：10 以上

※1 以下のカウンターおよび洗面器の場合は 50 以上
MC30/35/50/55、LS703/715/721C/721CM

8 施工例

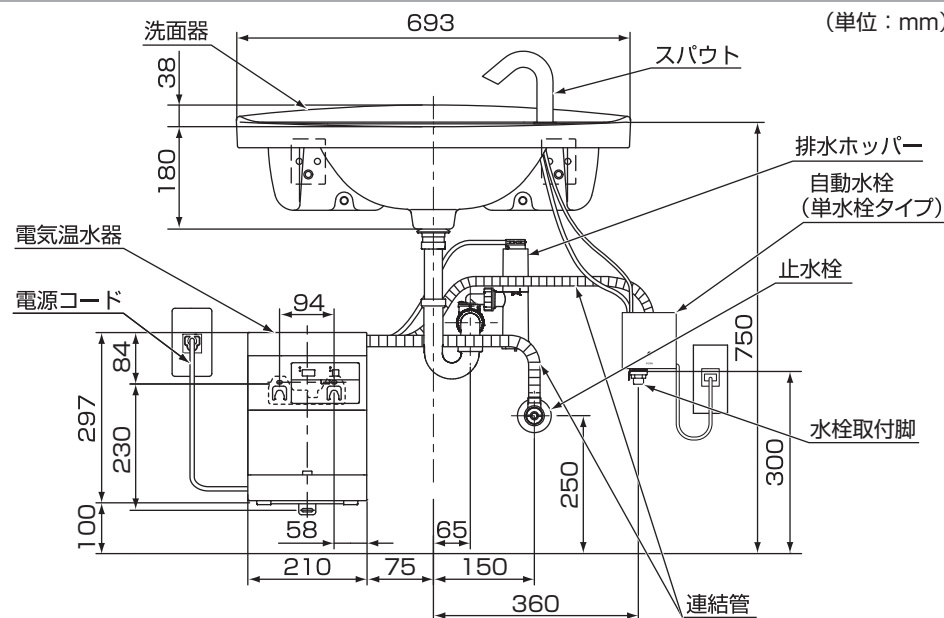
【施工例（シングル混合水栓の場合）】（洗面器 L270）

（単位：mm）



【施工例（自動水栓の場合）】（洗面器 L270）

（単位：mm）



※REWFO3 型は適温出湯（混合バルブ内蔵）のため、自動水栓は単水栓タイプを取り付けてください。

9 取付手順

注意 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

取付手順は以下の通りです。

9-1) 固定金具のねじ穴位置のけがき …P6

9-2) 電気温水器の設置 …P6

10 電気工事 …P8

11 試運転 …P9

12 水抜き方法 …P12

9-4) 排水ホッパーの取り付け …P8

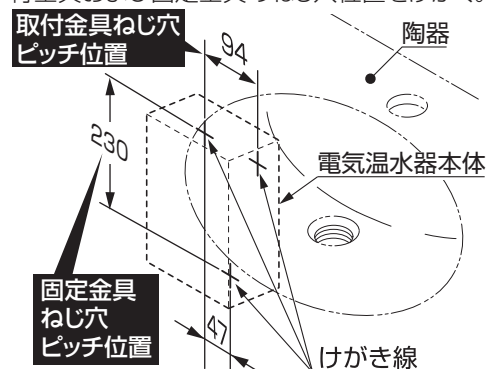
9-3) 連結管の接続 …P7

1) 固定金具のねじ穴位置のけがき

壁に設置する場合

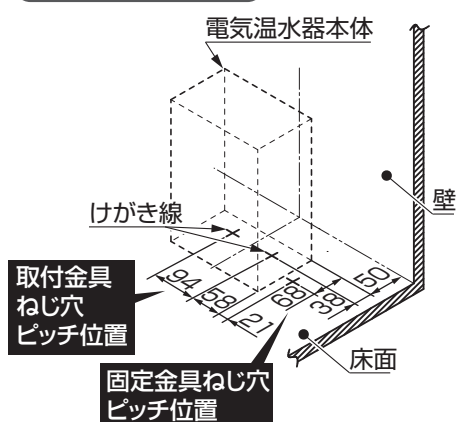
(単位: mm)

「7.設置条件」を参考にして電気温水器本体の固定位置を決め、「5.寸法図」を参考に、壁に取付金具および固定金具のねじ穴位置をけがく。



床に設置する場合

(単位: mm)



※床に置く場合は壁から50mm以上離す。

注意 必ず商品の天底の位置を守って施工してください。(逆さ、横置き、寝かせ置きにすると十分な出湯性能が得られません。)

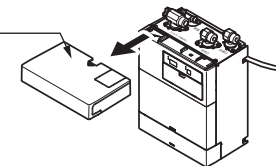
2) 電気温水器の設置

注意 電気温水器本体を床に仮置きする場合、傷がつくおそれがあります。梱包の緩衝材を床に敷くなどして作業を行ってください。

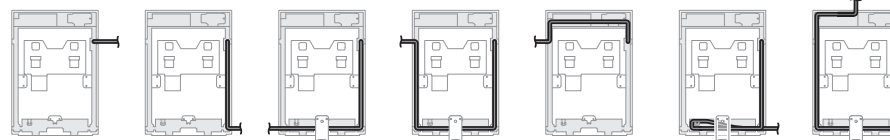
①電気温水器本体の上面化粧カバーを外す。

(注) オストメイト対応トイレパック専用には、化粧カバー、木ねじ、皿タッピンねじ、固定金具は付いていません。トイレパックフレーム部に同梱のねじを使用してください。

上面化粧カバー (注)



②電源コンセントの位置に合わせて電源コードを下記のように収納し、長さを調整する。



壁に設置する場合

設置を行う壁に応じて、取り付け前に下記準備を行ってください。

〈タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合〉

ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ(現場手配)を打ち込む。
※カールプラグは木ねじ(φ5.1×32)に合うものを手配してください。

〈木製の壁に取り付ける場合〉

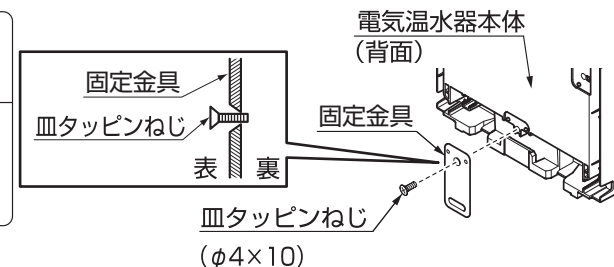
商品満水時の質量(6Kg)に耐えうる構造(乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に12mm以上のJAS規格合板相当をお使いください)であることを確認し、取付金具を木ねじ2本で固定し固定金具を木ねじ1本で固定する。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

③電気温水器本体に固定金具を皿タッピンねじ1本で固定する。

注意

電動ドライバーなどを使わずに、手締めをしてください。

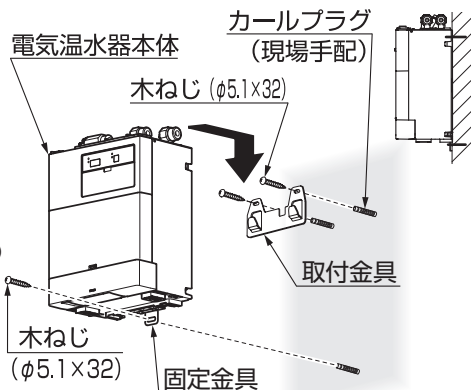
固定金具は表と裏を間違えないようにしてください。電源コードを傷つけないこと。



9 取付手順(つづき)

- ④取付金具を位置に合わせて木ねじ2本で固定する。
 ⑤取付金具へ電気温水器本体を引っ掛け、固定金具を木ねじ1本で固定する。

注意 本体が水平になるように取り付け
 てください。
 電源コードのかみ込み、エッジ部
 への接触などに注意してください。



床に設置する場合

フロントパネル付のカウンターの中など隠蔽部の
 設置を推奨します。

注意 露出設置した場合、外部から過大な
 力が加わると電気温水器が転倒する
 恐れがあります。

〈床材(建築躯体側)がコンクリートの場合〉

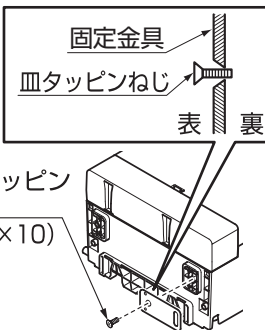
アンカーとしてカールプラグを現場手配して施工してください。

〈床材(建築躯体側)が木材の場合〉

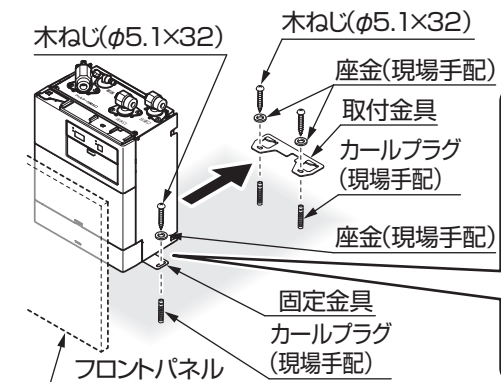
必ず厚さが15mm以上の合板に
 固定してください。
 固定には同梱されている木ねじ
 (φ5.1×32)と座金を現場
 手配して施工してください。

- ③電気温水器本体に固定金具を
 皿タッピンねじ1本で固定する。

- ④取付金具を位置に合わせて
 木ねじ2本で固定する。



注意 電動ドライバー
 などを使わずに、
 手締めをしてく
 ださい。
 固定金具は表と
 裏を間違えない
 ようにしてくだ
 さい。電源コード
 を傷つけないこと。



電気温水器本体を図のように傾けながら、
 取付金具に取り付けてください。
 取付金具の奥まで確実に押し込んでください。

- ⑤取付金具へ電気温水器本体を取り付け、固定金具を木ねじ1本で固定する。

3) 連結管の接続

⚠ 注意



給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため
 止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
 フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障、水漏れや流量不足の原因になります。



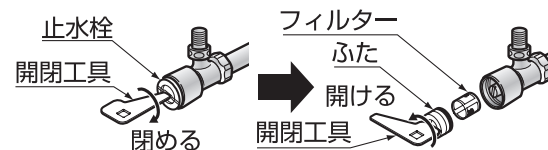
フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、
 止水栓または元栓を閉めてから行う
 水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
 (鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。)
 建築躯体側配管の接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けしないでください。
 接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がおうことがあります。
 必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。

(注)オストメイト対応トイレパック専用品については、手順が異なりますので、トイレパックの
 施工説明書を参照ください。

- ①給水口に接続する前に止水栓
 フィルターの網目に詰まった
 ゴミなどを取り除く。
 (異物などが混入し、機器の故障の
 原因になります。)

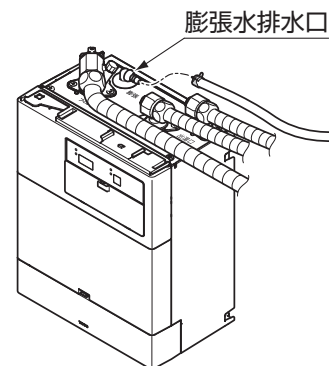


止水栓は必ずフィルター付き止水栓
 (必要別売品)を取り付けてください。

- ②排水ホッパーホースを
 膨張水排出口に差し込む。

注意

排水ホッパーホース差し込み時には工具を
 使用しないでください。
 (工具を使用すると排水ホッパーホースに
 キズが入り、水漏れの原因となります。)



- ・ホースを根元まで差し込む
- ・ホースクランプを下図の向
 きで固定する

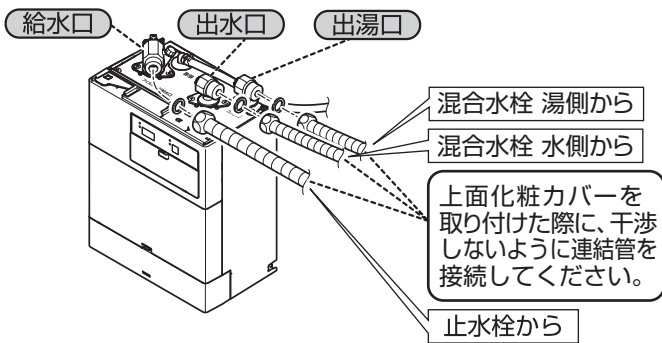
ホースクランプ
 (排水ホッパーに同梱)
 排水ホッパーホース
 (排水ホッパーに同梱)



9 取付手順(つづき)

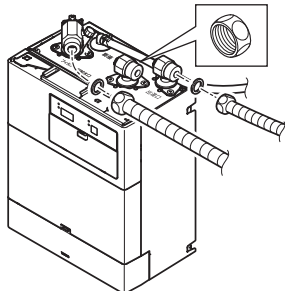
③ 連結管を電気温水器に接続する。

〈混合水栓の場合〉



〈単水栓の場合〉

出水口を接続口キャップ (別売品:TH651) でふさぐ。



注意 混合水栓水側への給水配管は、必ず電気温水器の出水口より接続してください。(減圧弁の故障の原因になります。)

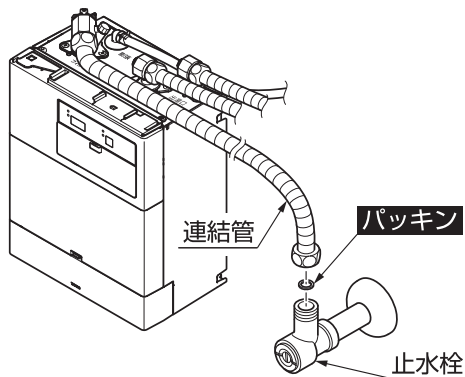
④ 水栓および止水栓に連結管を接続する。

電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。(鋼管などで接続されるとシーリング剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。)必ずパッキン(図示)を入れてください。

注意 連結管は、極端に折らないでください。(R40mm以上は確保してください。)



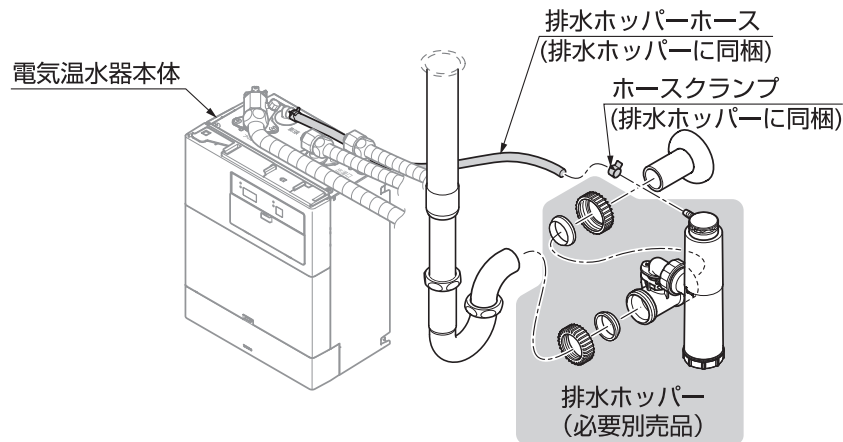
(注) オストメイト対応トイレパック専用品の連結管はR60mm以上は確保ください。



4) 排水ホッパーの取り付け

排水ホッパー(必要別売品)を電気温水器本体の排水ホッパーホースに接続する。

(注) オストメイト対応トイレパック専用品については、トイレパックの施工説明書を参照ください。



注意 排水ホッパーは必ず、電気温水器1台につき、1個取り付けてください。排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」に従って取り付けてください。

取り付け終了後、排水ホッパーが他の配管などに当たって傾いていないか確認する

10 電気工事

警告

- 指定する電源以外では使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。
- 電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 2) 接地極付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

対応コンセント	電 圧	消費電力
パナソニック : WK3001W (露出型) WF3002WK (埋込み型)	AC100V	0.6kW

77 試運転

⚠ 注意



タンク内が満水になっていないときは、絶対に「運転（電源）」スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

注意

機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合があります。

そのような場合は以下の操作を行ってください。

1) 逃し弁手動レバーを立てて、膨張水排水口から1分間ほど水を排出させ続けてください。

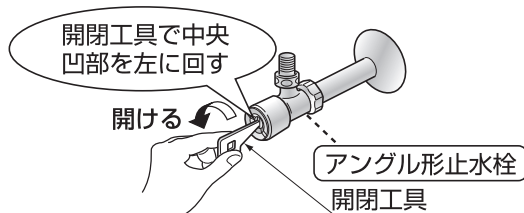
2) 逃し弁手動レバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けることを確認してください。

(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

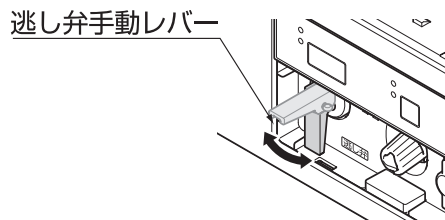
1) 電気温水器への給水

《自動水栓（単水栓）の場合》

① 止水栓を開ける。



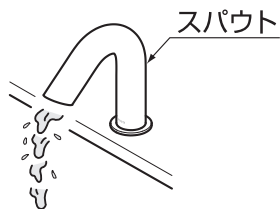
② 逃し弁手動レバーを引き上げる。



③ 排水ホッパーから水が出始めたら逃し弁手動レバーを元に戻す。

④ 自動水栓のスパウトのセンサーを作動させ水の出方が安定してくると、タンクは満水です。

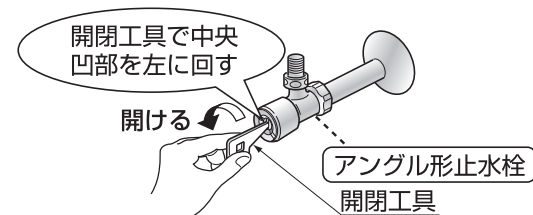
(タンクが満水になるまでは空気を巻き込みながら断続的に水が出ます。)



⑤ 配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

《シングルレバー混合水栓および2ハンドル混合水栓の場合》

① 止水栓を開ける。



② 混合水栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
※ 混合栓から安定して水が出始めるとタンクは満水です。



③ 混合水栓を閉める。

④ 配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

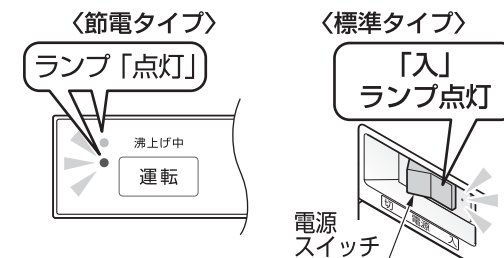
2) 電気温水器への通電 **空焚き禁止**

(タンクが満水になる前に「運転(電源)」スイッチを「入」にしない)

① タンクが満水になったことを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む。



② 「運転(電源)」スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。



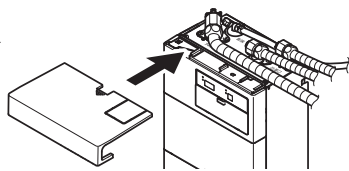
注意

電源投入時は動作準備に多少時間がかかります。電源プラグをコンセントに差し込んだあと、約10秒待って、「運転」スイッチを押してください。

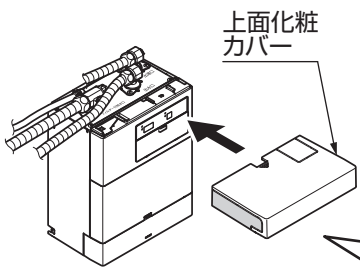
③ 沸き上がると、沸き上げ中ランプ（節電タイプ）および電源スイッチ（標準タイプ）のランプが消灯します。

77 試運転 (つづき)

④上面化粧カバーの連結管取り出し部分を切り離し、スライドして取り付ける。

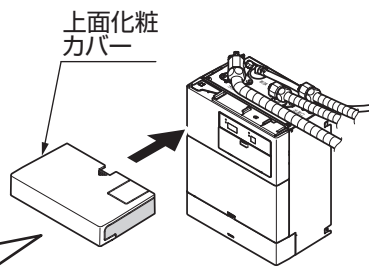


<左配管取り出しの場合>



カット部のバリをニッパーなどで除去すること(5カ所)
※カバーの変形に注意

<右配管取り出しの場合>



注意 上面化粧カバーに傷を付けないよう注意してカットしてください。
カット部のバリでけがをしないよう注意してください。

<沸き上がり時間の目安>

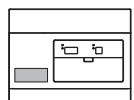
給水温度	5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
沸き上がり時間の目安	約18分	約15分	約13分

注意 止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。試運転後、フィルターの掃除を行ってください。掃除の方法は、取扱説明書を参照してください。

注意 減圧弁、逃し弁は消耗品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。交換時期の目安は5年程度です。

吐水させると音や振動がする場合があります。そのような場合は、止水栓で調整したり、減圧弁(一軸減圧弁など※現場手配)を取り付けて下さい。

※同梱されている取付日表示ラベルにお取付日を記入し、商品本体の見やすい場所に貼り付けてください。



空焚きリセット方法 (節電タイプ)

※万一空焚きした場合は、操作部のランプが点滅します。その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

- ①止水栓が開いていることを確認する。
- ②電源プラグを抜く。
- ③タンクに水を入れて、満水になったことを確認する。(P.9「試運転」を参照)
- ④電源プラグをコンセントに差し込む。

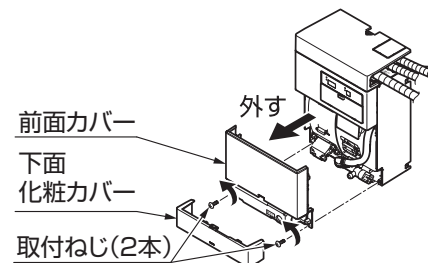
⑤約10秒待ち「運転」スイッチを押す。
※沸上げ運転が開始されますので、沸き上げ完了後にスパウトからお湯が出ることを確認してください。

ランプ 1 回点滅 (繰返し)

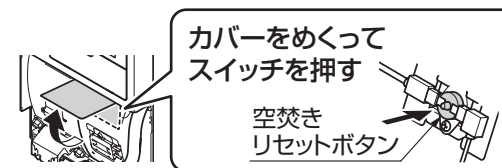


<それでもスパウトからお湯が出ない場合>

- ①「運転」スイッチを押し、「切」にする。
- ②電源プラグを抜く。
- ③下面化粧カバーを外し、取付ねじを外して前面カバーを外す。



④空焚きリセットボタンを押す。



- ⑤前面カバーを取付ねじで固定し、下面化粧カバーを取り付ける。
- ⑥電源プラグをコンセントに差し込む。
- ⑦約10秒待ち「運転」スイッチを押し、「入」にする。
※沸上げ完了後にスパウトからお湯が出ることを確認してください。

77 試運転 (つづき)

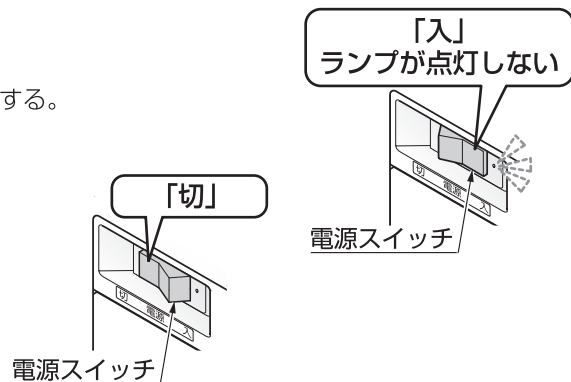
空焚きリセット方法〈標準タイプ〉

※万一空焚きした場合は、電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しません。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

① 止水栓が開いていることを確認する。

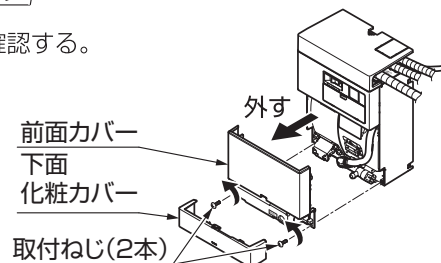
② 電源スイッチを「切」にする。

③ 電源プラグを抜く。

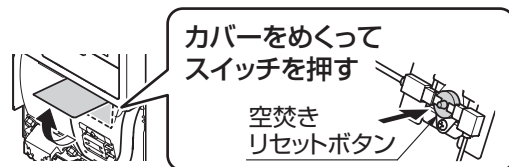


④ タンクに水を入れて、満水になったことを確認する。
(P.9「試運転」電気温水器への給水を参照)

⑤ 下面化粧カバーを外し、取付ねじを外して
前面カバーを外す。



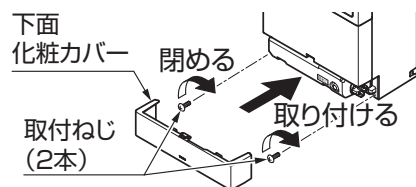
⑥ 空焚きリセットボタンを押す。



⑦ 前面カバーを取付ねじで固定し、
下面化粧カバーを取り付ける。

⑧ 電源プラグをコンセントに差し込む。

⑨ 電源スイッチを「入」にする。
※ランプが点灯し沸上げ運転が再開されますので、沸き上げ完了後にスパウトからお湯が出ることを確認してください。



12 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

⚠ 注意



凍結のおそれのある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の水を抜く「12. 水抜き方法」を参照ください。凍結破損し水漏れするおそれがあります。

《水抜き手順》

① 「運転（電源）」スイッチを「切」にする。

② 電源プラグを抜く。

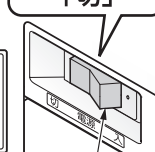
〈節電タイプ〉

ランプ「消灯」



〈標準タイプ〉

「切」

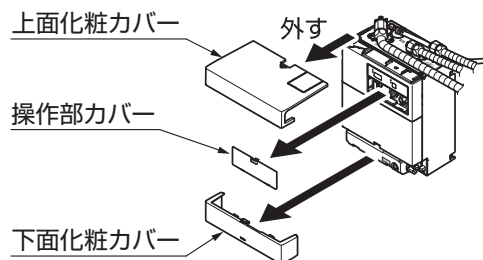


電源スイッチ

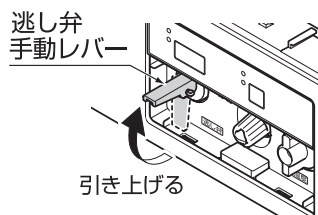
③ 混合水栓の水側および湯側を開け、湯が水になるまで出す。水になったら止める。

(注)タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。

④ 操作部カバーと下面化粧カバーと上面化粧カバーを外す。



⑤ 逃し弁手動レバーを約20秒程度引き上げ、排水ホッパーに水を流したあと、レバーを元に戻す。



⑥ 電気温水器に取り付けの開閉工具で止水栓を閉める。

引き上げる

⑦ 電気温水器の下部にある排水口に付属の水抜きチューブを差し込み、排水栓を反時計回りに回し、電気温水器上部にある吸気栓(4ヵ所)を左に回して取り外す。

⚠ 注意



吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行うやけどをするおそれがあります。

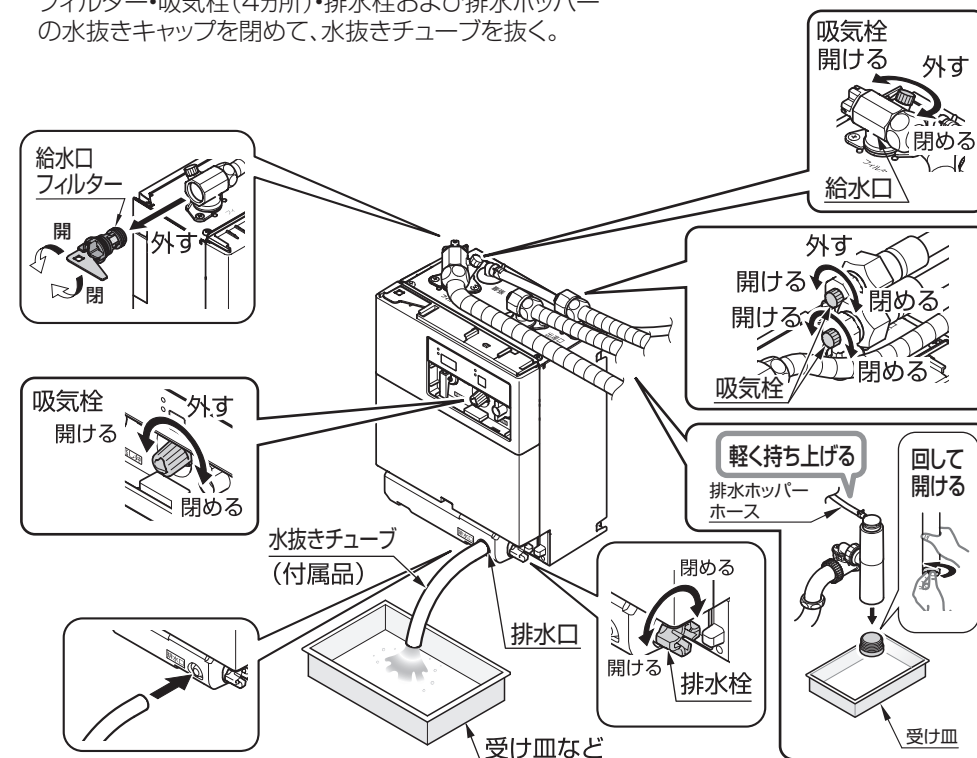
注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑦ 逃し弁手動レバーを引き上げる。
(排水量は約3Lです。)※排水が止まると水抜きは完了します。
(タンクが満水するとき、水抜きは約2分かかります。)

⑧ 排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。

⑨ 給水口フィルターを左に回し、取り外す。

⑩ 水抜きが完了したら逃し弁手動レバーを戻し、給水口フィルター・吸気栓(4ヵ所)・排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを開めて、水抜きチューブを抜く。



⑪ 操作部カバーと下面化粧カバーと上面化粧カバーを取り付ける。

注意

「運転（電源）」スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。